

◎世界遺産「知床」について

2005年7月に日本で13番目の世界遺産、そして、日本で3番目の自然遺産として登録されました。流水が押し寄せる海岸から1,600mの山頂部まで、特異な地理的条件と人手が入っていない自然環境で、海洋および陸上の複合生態系によるさまざまな動植物が生息しています。

◎デザイン

【知床五湖と知床連山】

知床五湖は原生林に囲まれた、知床に点在する五つの湖を指しています。

知床連山は一般に羅臼岳、三ツ峰、サルシ岳、硫黄山等の山を含んだ範囲を指しています。

【シマフクロウ】

天然記念物で、世界最大級のフクロウです。世界で最も絶滅が心配されている鳥類のひとつです。

【流水と羅臼岳】

羅臼岳は知床連山の最高峰で、日本百名山のひとつです。

【チシマツガザクラ】

知床連山の風あたる強い岩場等に咲く花で、7月中旬から8月中旬に咲きます。

【ヒグマ】

知床の全域に生息しています。知床半島の生息密度は約0.4頭/km²で、世界的に最も高密度な地域のひとつです。

【ゴマフアザラシ】

生後2週間ほどは白い産毛に包まれています。北海道近海に分布するアザラシのうち最も沿岸近くを生息域にしています。

【エゾシカ】

ニホンシカの亜種で本州個体群に比べ大型です。

【オオワシ】

天然記念物で、生息数約5,000羽といわれています。北海道東部(知床)に多く飛来します。

【シレットコスミレ】

絶滅危急種で、高山帯の砂礫地に生育する知床半島の固有種です。6月下旬から7月下旬に白色の花を咲かせます。

◎世界遺産シリーズ〈第3集〉 絵入りハト印

使用局:

- (A) 定例局
- (B) 札幌、仙台、横浜、東京、長野、名古屋、大阪、岡山、福岡の各中央郵便局

使用日:

平成19年7月6日(金)のみ



(A) 手押し用



(B) 記念押印機用

「知床」

世界遺産シリーズ〈第3集〉
The World Heritage <No.3>



発行日:平成19(2007)年7月6日(金)

<http://www.kitte-design.net/>

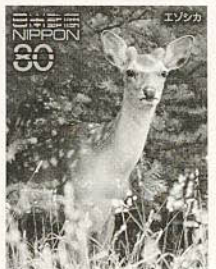


[1] [2]

世界遺産シリーズ〈第3集〉
「知床」
The World Heritage <No.3>



[7]



[8]



[5]



[6]



[3]



[4]



[9]



[10]

種類:80円郵便切手 ※1シート10枚/1枚から販売します。

意匠:[1]知床五湖と知床連山 [2]知床五湖と知床連山II [3]シマフクロウ
[4]流水と羅臼岳 [5]チシマツガザクラ [6]ヒグマ [7]ゴマフアザラシ
[8]エゾシカ [9]オオワシ [10]シレットコスミレ

発行日:平成19(2007)年7月6日(金)

版式刷色:グラビア6色

印面寸法:

[1][2]縦33.5mm×横28.05mm
[3]~[10]縦33.5mm×横25.0mm

小切れ寸法:縦36.5mm×横28.05mm

シート寸法:縦212.5mm×横140.25mm

写真撮影:後藤 昌美[1][2][4][6]/
石井 英二[3][7]/木原 浩[5][10]/
麻賀 進[8]/兼松 史晃[9]

デザイン:兼松 史晃(切手デザイナー)